

渋谷区立鉢山中学校

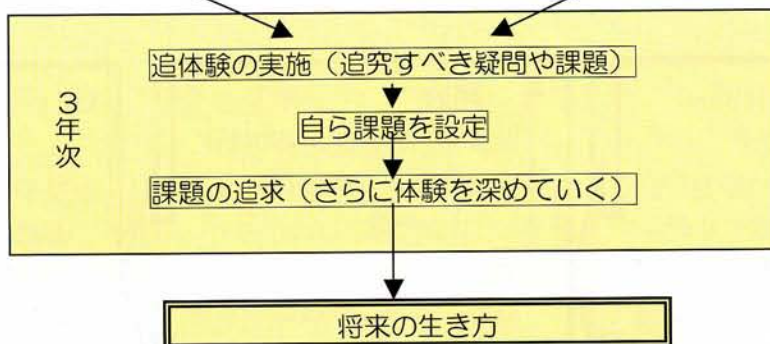
—自らの生き方を意欲的に学ぶ生徒の育成—

総合的な学習の時間： 3年間で「職業体験」にあてる
2年生での職業体験は4日間のプログラム

三年間の学習の流れ

1年次「職場体験」
地域から学習課題を設定し様々な職業や行き方を考える

2年次「福祉学習・体験」
福祉、社会体験を学習・実践することによって職業選択について考える



ねらい

「様々な人から学ぶ」というテーマで、国際理解・福祉・環境・地域学習等の中から課題を設定し、様々な生き方について知るとともに、自己の生き方を考える上での基礎的な知識・技能・態度を育成する

第1学年

公共施設しらべ

(1学期)

○身近な公共施設について興味を持ち、必要な情報を収集してまとめる

意欲・関心・態度
情報収集能力



消防士体験

インタビューによる

職業調べ (夏休み)

○身近な人から職業に関して話を聞いてまとめる

対人関係能力
表現能力



新橋作業所体験

公共施設訪問

(2学期前半)

○自分の選んだ公共施設（各自2箇所）への訪問計画を立てる

計画立案能力

○訪問する
・マナーに気をつける
・訪問先で説明を聞き内容をまとめる
・必要な質問をして理解を深める

○訪問後にお礼状を書く

対人関係能力
情報収集能力

コミュニケーション能力

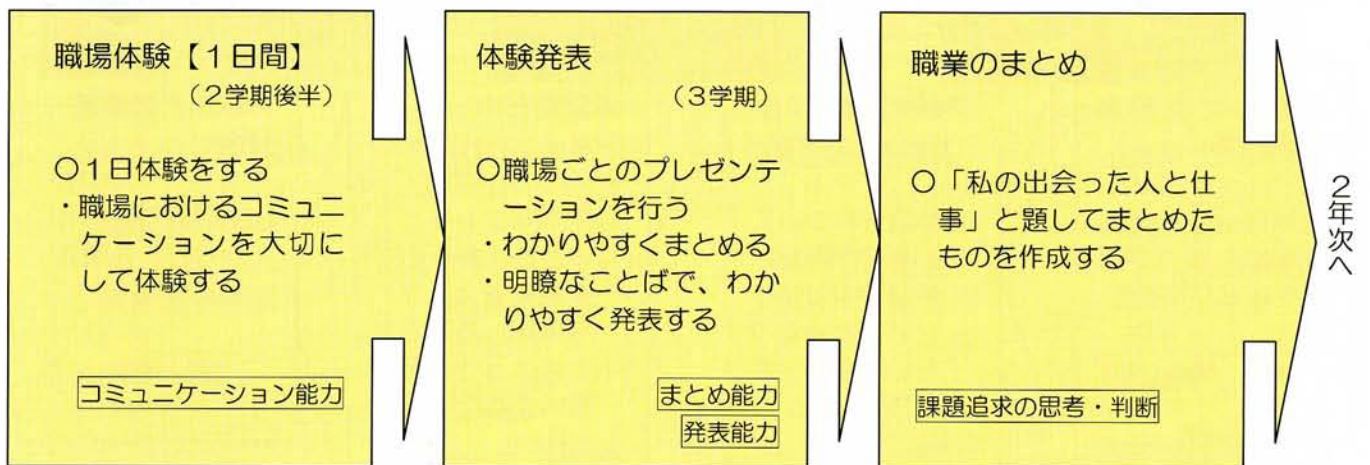
総合的な学習の時間を進めるための時間割の工夫

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	特活	選択	総合
1年	140	105	105	105	45	45	90	70	105	35	35	30	70
15週	4	3	3	3	1	1	2	2	3	1	1	2	2
10週	4	3	3	3	2	1	3	2	3	1	1	0	2
10週	4	3	3	3	1	2	3	2	3	1	1	0	2
2年	105	105	105	105	35	35	90	70	105	35	35	70	85
15週	3	3	3	3	1	1	2	2	3	1	1	2	3
10週	3	3	3	3	1	1	3	2	3	1	1	2	2
10週	3	3	3	3	1	1	3	2	3	1	1	2	2
3年	105	85	105	80	35	35	90	35	105	35	35	165	70
15週	3	3	3	2	1	1	2	1	3	1	1	5	2
10週	3	2	3	2	1	1	3	1	3	1	1	5	2
10週	3	2	3	3	1	1	3	1	3	1	1	4	2

●教育課程における標準時数は、すべて5の倍数になっている。年間35週を15週・10週・10週と3期に分けて、そのまとまりごとに時数を配分して、3種の時程を作ること各教科等の標準時数をクリアすることができる。この3種の時程を、学校行事などの時期に合わせて運用する。

●体験学習を実施する際、総合的な学習の時間を「まとめどり」して、訪問・体験にあてる。

- 1年生：午前中2日と全日1日　　4時間×2日+6時間×1日=14時間
- 2年生：4日間で　　5時間×2日+6時間×2日=22時間
- 3年生：2日間で　　5時間×2日=10時間



- 体験前には2回にわたり、職種の違いによる講演会を行なった。そこでは職業観における共通点や違いを考える機会となった。
- 道徳地区公開講座において、「礼儀・時と場に応じた言動」をテーマに、ロールプレイングを用いてマナー指導を実施した。

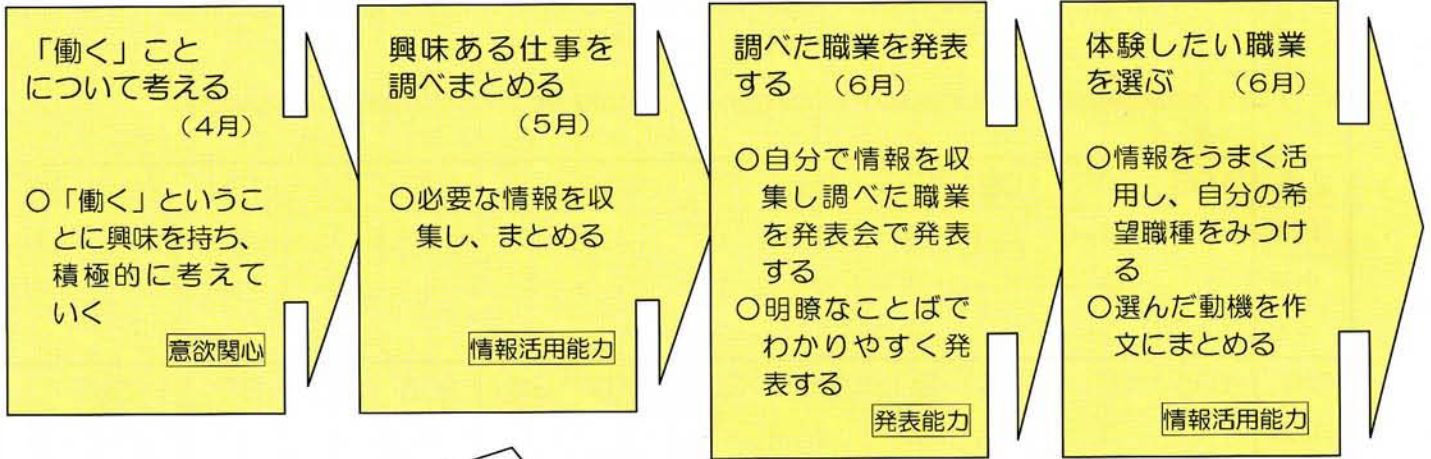


保育士体験

第2学年

ねらい

生き方についての具体的な課題を設定し、地域に結びついた職業や福祉・ボランティア活動等の幅広い社会体験学習を実践することによって、将来の行き方や職業選択について考えようとする態度や能力を育成する。

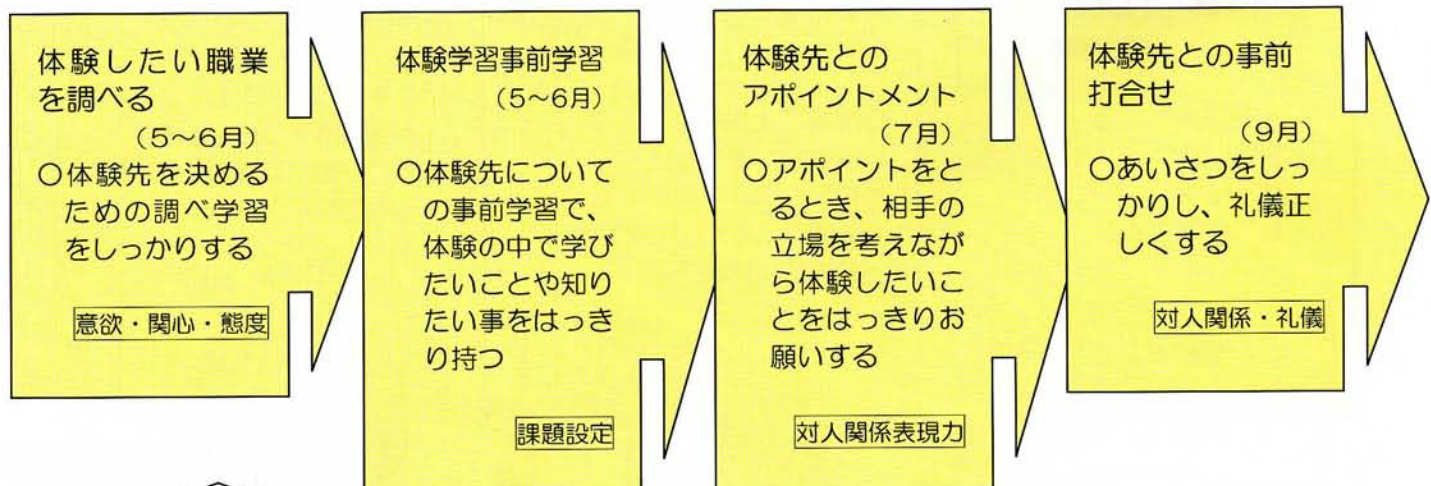


- 夏休みの宿題として、「福祉」について調べた。福祉の内容や受けるための仕組み、関係する役所や法律、調べた感想などを掲示発表し、福祉に関しての知識を深め合った。
- 道徳のテーマを「働く」と設定し、総合と関連をはかりながら授業を行った。中学生によるホームレス暴行殺害事件について・世界の児童労働について・あいさつについてなどを学習した。

第3学年

ねらい

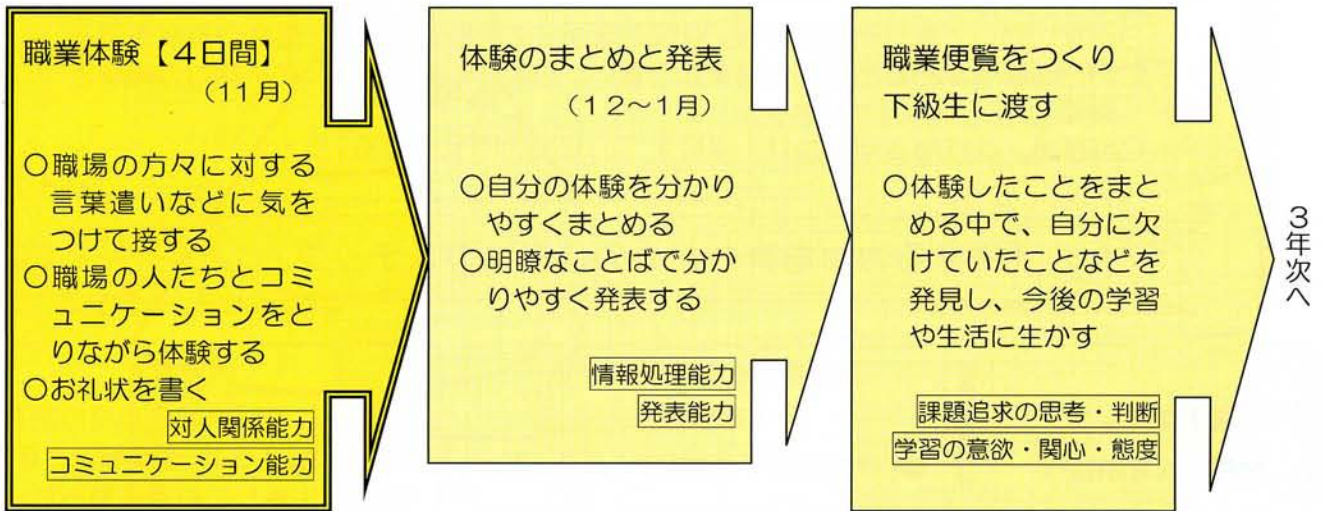
「将来の生き方」というテーマで、さらに追究したい課題を設定し、それに基づいた体験活動を設定し、それに基づいた体験活動を通して、中学卒業後の生き方について課題を発見し、解決しようとする態度と能力を育成する。



- 関西方面への修学旅行という機会を利用し、東京とは違う体験学習も実施した。
- 視野を広げるために、講演会では世界で活躍している人の話を聞いた。

- 1・2年生での経験を存分に生かして、自ら連絡を取って体験先を決定していった。

1日程度の体験ではお客様扱いに終わってしまうことを考え、生徒たちに仕事の苦勞ややりがいを勉強してもらうため、4日間の体験を考えた。もちろん受け入れ先があるかどうかの心配もあった。生徒の希望職種を優先させることを第一と考えたため、全て4日間とはならなかったものの、32か所の体験先のうち4日間は16か所、3日間は7か所あった。



生徒の反応は？

Q. 職業体験はどうでしたか？

おもしろかった…66% まあまあおもしろかった…30% あまりおもしろくなかった…4%

Q. もう一度体験をやるとしたら何日間やりたいですか？

1日…13% 2日間…13% 3日間…15% 4日間…19% 5日間…11% それ以上…30%



看護師体験



管路トンネル体験



司書体験

